



はんだ 市議会だより



- 一般質問10人が市政を問う！ P.2~5
- 11月臨時会審議結果 P.6
- 12月定例会審議結果 P.6~7
- 1月臨時会審議結果 P.8
- 政務活動費を使用した議員活動について P.9~11
- 議員勉強会報告 P.12

市政を問う

一般質問

12月定例会における市政に関する一般質問は、12月7日、8日、9日に行われ、10人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は3月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



維新・半田市民の会
中川健一

久世市長の選挙公約全ての現時点での実施状況を検証

問 令和3年6月6日の市長選挙投票日から約6か月が過ぎました。38個ある選挙公約のうち実施済み、検討中、実施を取りやめたものはそれぞれいくつですか。

答 実施済みは12事業、検討中は25事業、実施を取りやめたものは、『地域ごとのコロナ緊急サポートセンターの設置』1事業です。

問 選挙公約全体の進捗状況をどのように評価していますか。事務事業評価と同様にAからEで評価し、理由を説明してください。

答 現時点において、公約を評価する段階ではないと考えています。

問 コロナ禍で職を失った方の臨時雇用について、公約の実施状況は空港関連職員を含め6名とのことでした。この臨時雇用は久世市長になってから始めたことでしょうか。

市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)

答 前市長からの雇用を継続しているものがあります。

問 前の市長がやった事業を選挙公約の実施結果として説明するのはいかがなものでしょうか。市長の所信表明演説にはスピード感と言う用語が7回使われ、選挙公約でも、早急に決断し、とのことでした。ところが公約の実施状況は検討中が多く、取組みが遅いと感じます。所信表明の時はスピード感で仕事をしたいと言う情報発信をしていながら、現状はゆっくりとした公約実現の取組みになっている理由を教えてください。

答 まず公約をどう進めていくかお話しします。市職員には選挙公約の実施の前に、当初予算のこと、議会で議決をもらうことの実施が第一であると伝えていきます。市民とは約束をしました。が、選挙公約は市職員にとつて追加で出てきたもの。現状で職員に残業をさせてまで公約の実施に取り組むことは考えていません。また公約の中でスピード感が必要なものは、地域振興券などはやってきたつもりです。



無所属
鈴木健一

聴覚にハンデがある人への支援の在り方

問 聴覚障がいにより身体障がい者手帳を持っていない人数や、その施策の内容を説明してください。

答 令和3年4月1日現在、272人います。補装具費の支給や日常生活用具の支給の他、地域福祉課に週3日手話通訳者を配置しています。

問 半田市内に補聴器のことで相談できる医療機関は何か所ありますか。

答 市内全ての耳鼻咽喉科で相談でき、半田市内には身体障がい者手帳の申請に必要な診断書を作成する指定医師が居る医療機関が5か所あります。

問 軽度・中等度の難聴児に対する支援策はありますか。

答 児童の言語取得や、教育における健全な発達を支援するため、平成29年度から補聴器の購入や、修理にかかる費用の一部を助成しています。

問 高齢者の検診に聴覚検査を組み入れ、難聴者の実態をつかむ必要についての見解はどうですか。

答 半田市が実施している国民健康保険の特定健康診査や後期高齢者の健康診査の項目に含まれていないため、把握していません。実施基準が無いので、検診の項目に組み入れる考えはありません。

問 認知症予防活動を充実させるために、補聴器購入助成制度の創設が必要だと考えますが、どうですか。

答 障がい者手帳を持つ方への支援制度があることから、新たな助成制度を創設する考えはありません。

インフルエンザ予防接種の補助を

問 64歳以下の市民にインフルエンザ予防接種への補助をするべきだと考えますが、どうですか。

答 予防接種法において、65歳以上の方と60歳から64歳までの方で、心臓などの機能障がいにより、日常生活が極度に制限される方が公費助成の対象となっています。





創造みらい半田 岩田 玲子

半田市のふるさと納税の現状と今後

問 2008年の地方税法改正により、ふるさと納税制度が始まり、13年が経ちました。市議会定例会や決算委員会の際には、毎回のよう

にふるさと納税の収支について議論となっています。その理由は、半田市のふるさと納税の収支のマイナスがどんどん増え続け、今では約2億円の赤字となっている事を危惧している事を、どのように考えますか。

答 寄附による市民税控除額が、半田市へのふるさと納税寄附額より約2億円も多いことは重く受け止めております。現在、市役所内で、組織横断的なチームを作り、ふるさと納税を増やすための方法を検討しており、その差を埋めることができるよう取組みを進めていきます。

問 ふるさと納税の収支がせめてプラスマイナスゼロとなることを希望しますが、半田市は、収支に対する考え方や、具体的な目標を設ける考えはありますか。

答 ふるさと納税寄附額を、市民税控除額と同等もしくはそれ以上とすることを目指し、現在は、前年度実績の2倍を翌年度の目標額と定め、取組んでいます。

問 ふるさと納税の収支の現状と税収減に伴う市民への影響を市報やホームページに掲載し、市民に知っていただく事も大切と考えますが、いかがですか。

答 情報公開として、現状を掲載してまいります。

問 ふるさと納税に対する市長の考えをおたずねします。

答 早急に対策を講じる必要があると考え、若手職員を中心にプロジェクトチームを組んで取り組んでおり、収支の差を縮めていきます。市民のみならず、市外の方に半田市へ寄附して頂くようお願いいたします。

問 学校3年生に対しては学校から保健だよりを配付しますが、郵送はしません、様々な方法で補完し、周知していきます。



公明党 坂井 美穂

子宮頸がんから命を守るための情報提供

問 子宮頸がんワクチン定期接種の接種人数と接種率を教えてください。

答 昨年、個別通知を郵送した高校1年生相当年齢の543人のうち、接種を受けた人数は47人で接種率は8.7%、個別通知以前の1昨年は604人に対し、4人で0.7%です。

問 郵送での個別通知により接種率が上昇しています。学校での保健だよりの配付では、児童・生徒から保護者への渡しそびれなどにより、接種の機会を逃すリスクがあります。命に関わる重要な通知です。確実に周知するためには対象者全員への郵送での個別通知が必須ですが、いかがですか。

答 小学校6年生から中学校3年生に対しては学校から保健だよりを配付しますが、郵送はしません、様々な方法で補完し、周知していきます。

子どもの目の健康と未来を守る取組み

問 50人に一人はいるとされる「弱視」の早期発見には、3歳児健診の家庭でのランドルト環検査に加え、「屈折検査」の機器でのスクリーニングが必須であると考えますが、見解を伺います。

答 「屈折検査」の機器の導入にあたっては、現在のランドルト環による検査との判断基準の整理や、医療機関の確保等が必要となるため、今後、これらの課題を解決しながら検討を行います。

問 ファーストミッションボックスによる避難所開設

問 ファーストミッションボックス（FM B）を導入することで、その場にいる人たちが迅速に避難所を開設できます。モデル自治区を設定し、指示書の作成と訓練の検証を行い、水平展開してはどうですか。

答 半田中学校区の取組みを参考に自主防災会と協議しながら半田市オリジナルのFM Bを作成し、各避難所へ配備します。



創造みらい半田 竹内 功治

市民サービスの向上に向けスマホのアプリを活用した取組み

問 半田市では「マイレボ」はんだ、さんあくる、マチイロ、公式ライン」など、スマホのアプリを活用した取組みを行っています。登録者数の増加や利用促進のため市のホームページのトップ画面や市の封筒などに案内してはどうですか。

答 現在取組んでいる方法以外でも案内するようしていきます。

問 紙媒体だけではなく、子ども成長記録、予防接種やイベントの案内など子育て支援の充実を図れる母子手帳アプリを導入してはどうですか。

答 「はんだこネット」のサイトで子育ての情報発信を行っており、直ぐにアプリの導入は考えていませんが、国でアプリを導入する動きがあるため注視して対応します。

問 保護者と小中学校との連絡は連絡帳や電話、学校メルマガなどに限られ不便な状況なので、学校生活におけるアプリ

を導入してはどうですか。

答 学校生活アプリは保護者と学校が相互に送信ができて効率的な情報収集や出席連絡、教員の負担軽減にも繋がるため、導入に向けて有効性の実施検証を行います。

問 匿名報告アプリなどは考えていますか。

答 いじめるの抑制効果は期待できますが相談体制の整備や予算に課題があるため、先進事例を参考に調査研究します。

問 半田市の魅力発信するため観光アプリを導入してはどうですか。

答 アプリではないですが、が来年度から「半田めぐりんマップ」を多言語翻訳に対応したデジタル版に変更します。またアニメキャラクター「知多娘。」と一緒に知多半島を巡るアプリ「モヒオビ」の活動の協力や連携をして広域で取組みます。

問 半田市が行っているアプリを集約したプラットフォームの役割を担う、独自の自治体アプリを導入してはどうですか。

答 独自のアプリは多額の費用が掛かるため、民間アプリを活用して市民サービスの向上に努める考えです。





維新・半田市民の会
加藤美幸

市長公約の防災・危機管理事業とは

問 被災地へのボランティア参加推進の取り組みはどのようですか。

答 令和4年度から「被災地ボランティア応援事業」において、現地までの移動手段として大型バスを運行させます。復旧・復興支援だけでなく、被災や復興を直に体感し、防災減災に対する意識の向上や自主防災会へのフィードバックを目的としています。参加対象は、すでに自主防災会などで活動している方や、これから取組もうとしている方で、これまで被災地でのボランティア経験のない市民を主とします。活動は日帰りで食事や資機材は各自での用意となります。

問 個人や団体でのボランティア活動に対する補助制度があれば、迅速で柔軟な被災地支援ができ、活動の報告により多様な災害への備えに役立つほか、学生や若い世代の防災意識向上も期待されますが、市の見解を伺います。

答 自主性を重んじた活動へ補助を行う考えはありません。

問 高齢化やコロナ禍、希薄化などの問題をふまえ、自主防災活動の支援と共助の体制づくりについて伺います。

答 誰ひとり取り残すことのない防災を実現するためには、日頃から地域のみなさんが顔の見える関係を築き、共助の体制づくりを強化することが重要と考えます。これまでのように資機材購入の助成金、防災講話、防災訓練での指導を行います。また、市内の先進的な避難所運営の取組みを他の自主防災会へ紹介し、活動の活発化を図るほか、被災地ボランティア応援事業を始めます。

問 半田消防署の建て替えなど具体的な計画は、どのようですか。



チャレンジはんだ
水野尚美

みんなが楽しめるスケートパークを

問 半田運動公園のスケートボードコーナーは経年劣化が進んでいます。怪我や事故防止のため、施設の点検、環境整備はどのように行っていますか。また今後は抜本的な改修も含めどのような対策を講じますか。

答 開設以来20年が経過しており老朽化がかなり進んでいます。点検は開園前や巡回時に行っており、簡易な補修は職員、対応できないものは業者に依頼しています。今後は、スケートボードを取り巻く環境や、この先の動向も注視しながら抜本的な改修については判断していきます。

問 施設を安心、安全、快適に利用してもらうため、利用者の声をどのように聞き、どのような声が届いていますか。



見を聞きながら整備、充実に努めます。

問 上級者と初心者、が困難な作りの施設だと思えますが、初心者用コーナーの設置は考えていますか。また半田運動公園以外にスケートボードを楽しめる場所はありませんか。

答 公共施設において、安心安全に楽しめる施設は半田運動公園のみであるため、初心者や小さな子ども向けの場所も提供できるように取組みます。

問 コロナ禍、東京オリトボード愛好者は増えており、今後増加が予想されています。一人でも始められる手軽なスポーツとして、青少年の運動不足の解消、戸外遊びの推進、国籍や年齢、障がいの有無を問わない交流スポーツとしてスケートボードの活用を提案しますがいかがですか。



チャレンジはんだ
伊藤正興

男性の育児参加の推進を進めよう

問 今後、男性の育児参加を推進するために新たな講座やイベントの開催が必要と考えますが見解を伺います。

答 育児に関する講座や行事について、名称や開催日時、PR方法の見直しを行い、父親一人でも気兼ねなく参加出来るよう努めていきます。

問 今後、市役所職員の育児休暇の取得率を向上させるために、どんな取組みをしますか。



令和の時代の母子健康手帳を作ろう

問 コスト削減と地域経済の活性化を目的に、企業広告の採用を検討したことはありますか。

答 母子健康手帳は、妊娠・出産から子どもの成長発達までを記録する大切な手帳であり、情報を確実に伝える点や携帯の利便性を考慮すると企業広告の採用には至っていません。

問 母子健康手帳のイラストには、南吉童話がふさわしいと思いが見解を伺います。



市政を問う
一般質問（質問議員が執筆しています）



公明党 山田清一

DXの推進

問 デジタル化に向けた取り組み状況はどうか。

答 AIやRPAの導入、Web会議やテレワーク環境の整備等を行い、現在、今後取り組むべきデジタル化の方向性を示す「半田市DX推進計画」の策定を進めています。

問 利用者の視点に立つ行政サービスのオンライン化は、どのように推進していきますか。

答 国の「地方公共団体におけるオンライン利用促進指針」を踏まえ、実施可能な手続きからオンライン化を進め、郵送や窓口に来ることなく手続きが完了できるよう申請方法を見直します。

問 キャッシュレス決済の拡大について、どのように考えていますか。

答 昨年6月からスマートフォン決済アプリを利用した納税を開始しました。市役所窓口での証明書発行手数料は、令和4年4月から市民課、収納課及び税務課の窓口でQRコード決済ができる

るよう準備を進めています。また、各種の税、保険料については、令和5年度からクレジット収納の拡充を予定しており、今後もキャッシュレス決済可能な支払いを増やしていきます。

問 人にやさしいデジタル化の取り組みについて、デジタル格差の解消について取り組みませんか。

答 県が実施している「高齢者デジタルサポーター事業」を活用し、高齢者向けのスマートフォン講座を実施する予定です。こうした取組みを継続するとともに、市報などを通じてデジタルサービスの安全性や便利さ、利用のメリットについて周知することでデジタル格差の解消に努めます。

問 DX推進の課題と改善策を伺います。

答 課題は、デジタルサービスの導入の費用対効果の見極め、業務プロセスの見直し、その役割を担う人材の育成、デジタル格差等です。これらの課題に適切に対応していくために、新たにデジタル課の設置を予定しており全庁を挙げてデジタル社会への推進を強化し、市民がその恩恵を最大限享受できるように取り組めます。



チャレンジはんだ 國弘秀之

犯罪の無い街づくり

問 不審者情報の提供があった場合、市として情報発信をどのように行っていますか。

答 情報を入手次第、直ちに、区長、自主ボランティア隊長へ情報展開し、市のホームページに掲載します。また、警察のメールマガジンでも情報が入り可能なため、チラシを用いて登録の促進を図っています。

問 防犯灯の設置状況はどのようですか。

答 平成28年度末の7381灯から、令和2年度末には7643灯と262灯の増設となっています。

問 児童生徒に対する防犯教育はどのように行っていますか。

答 市内の小中学校では警察と連携して、連れ去り被害防止や、不審者侵入への対応などについて防犯教室を行い、ネット犯罪対策についても授業を行っています。

問 自治区の防犯カメラの設置台数と設置を予定している施設や台数はどのようになっていますか。

答 防犯カメラ設置費補助金を用いた設置台数は累計45台で、今年度は、ゴミステーション付近の道路に1台設置されました。

問 防犯カメラの設置に補助金制度があるが維持費に関しては自治区の負担となっています。台数増に伴う経費負担を懸念し、設置が進まなくなるのが懸念されるので、市が率先して防犯カメラを設置するべきと思いますが、どのように考えていますか。

答 現在、盗難が発生しやすい駐車場や駐輪場に設置しています。並行して、自治区には補助金制度を利用し、市が設置した場所以外に設置していただいています。事業継続性やプライバシー確保の観点では、必要な箇所に効率的に設置するのが重要と考えますので、補助という形で自治区にも一定のご負担を頂きたいと考えています。

問 防犯カメラの設置に補助金制度があるが維持費に関しては自治区の負担となっています。台数増に伴う経費負担を懸念し、設置が進まなくなるのが懸念されるので、市が率先して防犯カメラを設置するべきと思いますが、どのように考えていますか。

答 現在、盗難が発生しやすい駐車場や駐輪場に設置しています。並行して、自治区には補助金制度を利用し、市が設置した場所以外に設置していただいています。事業継続性やプライバシー確保の観点では、必要な箇所に効率的に設置するのが重要と考えますので、補助という形で自治区にも一定のご負担を頂きたいと考えています。

問 防犯カメラの設置に補助金制度があるが維持費に関しては自治区の負担となっています。台数増に伴う経費負担を懸念し、設置が進まなくなるのが懸念されるので、市が率先して防犯カメラを設置するべきと思いますが、どのように考えていますか。

答 現在、盗難が発生しやすい駐車場や駐輪場に設置しています。並行して、自治区には補助金制度を利用し、市が設置した場所以外に設置していただいています。事業継続性やプライバシー確保の観点では、必要な箇所に効率的に設置するのが重要と考えますので、補助という形で自治区にも一定のご負担を頂きたいと考えています。

問 防犯カメラの設置に補助金制度があるが維持費に関しては自治区の負担となっています。台数増に伴う経費負担を懸念し、設置が進まなくなるのが懸念されるので、市が率先して防犯カメラを設置するべきと思いますが、どのように考えていますか。



第29回議会報告会をYouTube配信中(手話通訳付き)

半田市議会では、議会報告会を年に2回開催し、定例会等で審議された内容の報告や意見交換を行っています。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、YouTubeでの映像配信による議会報告会を行っています。議会報告会をご覧ください議会を身近に感じていただけたら幸いです。

〈配信内容 常任委員会ごとの本会議報告〉

- 総務委員会
- 文教厚生委員会
- 建設産業委員会

YouTubeでの動画閲覧はこちら!



令和2年度 決算審査(市立半田病院) 総務委員会

◇半田市立半田病院事業会計
決算額/134億5986万7千円

事業内容 市立半田病院と常滑市民病院の経営統合について

質疑 (一部抜粋)

Q. 常滑市民病院の経営に不安を感じる経緯もあったが、どういった協議で合意をしたのか

A. 経営シミュレーションを行った結果、半田病院は統合時点で黒字が維持されますが、常滑市民病院は赤字が予想される。常滑市民病院が経営改善を行うこと、統合時に累積赤字があった場合は、常滑市が赤字補填を行うことで合意されました。

議案87	半田市国民健康保険条例の一部改正について (健康保険法施行令の改正によって、出産育児一時金が改められたことに伴う条例の一部改正)
議案88	令和3年度半田市一般会計補正予算第8号 (高校生までの子どもを養育する世帯への臨時特別給付金一人当たり5万円の現金給付を行う事業費。新たに5歳から11歳以下の子ども向け、新型コロナウイルスワクチン接種事業費)
議案89	令和3年度半田市一般会計補正予算第9号 (子育て世帯への臨時特別給付金を10万円の一括現金支給にすることへ変更するための追加給付金及びシステム改修にかかる委託料)
諮問 2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (任期満了に伴い尾前宣男氏、市野恵功氏、岩田都母恵氏、澤田繁見氏、秦慶隆氏とするもの)

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名 () 内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党	志民ネット	チャレンジはんだ	維新・半田市民の会	自民クラブ	無所属	議決結果						
		渡邊昭司	芳金秀彦	鈴木幸彦	岩田玲子	竹内功治	沢田清勝	石川英之	山田清一	坂井美穂	山本半治	小栗佳仁	中村和也	小野義一	水野尚美	伊藤正興	國弘秀之		加藤美幸	中川健一	新美保博	嶋崎昌弘	鈴木健一	
議案 76	令和3年度半田市一般会計補正予算第7号 (総務：機構改革を行うため市役所内の設備などを調達するためのもの 文教：小中学校校舎の老朽化により外壁や軒裏のコンクリートの剥がれを一斉調査し、必要な工事を行うものなど 建設：地方創生臨時給付金を財源に、オンライン販売サイトを新設し、販売支援のキャンペーンを実施するなど)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
議案 84	半田市事務分掌条例の一部改正について (健康子ども部を子ども未来部に改めるなど機構改革に伴う条例改正)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願 2	シルバー人材センターに対するインボイス制度特例措置の実施を求める請願 (令和5年10月のインボイス制度導入に伴い、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができず、センターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源がないため、特例措置の実施を求める)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書 案3	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書 案4	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

討論

請願2号に反対

中川健一議員

私たちが公務員や会社員などが払った消費税が年間約4500億円もお上に納税されていることが根本的な大問題です。納税の義務がある中、シルバー人材センターが消費税を納めないことに正義はありません。自分たちだけは特別扱い、受け取った消費税をこれからもポケットへ入れさせて欲しい、と言う要望を出すなど、完全に筋違いです。

議案76号・議案84号に反対
請願2号に賛成

鈴木健一議員

議案76号については、がん検診の結果をマイナポータルで見えるようにとのことですが、一部の市民にしか恩恵が無く、セキュリティ上の懸念もあるため反対です。議案84号については、国のデジタル庁の動きに連動するものであり、反対です。請願2号については、高齢者の生きがいを守るために賛成です。

令和4年第1回臨時会(1月11日)審議結果

賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。	創造みらい半田			公明党		志民 ネット		チャレンジ はんだ		維新・ 半田市 民の会		自民 クラブ		無 所 属		議決 結果						
		渡 邊 昭 司	芳 金 秀 展	鈴木 幸彦	岩田 玲子	竹内 功治	沢田 清勝	石川 英之	山田 清一	坂井 美穂	山本 半治	小栗 佳仁	中村 和也	小出 義一	水野 尚美	伊藤 正興		國弘 秀之	加藤 美幸	中川 健一	新美 保博	嶋崎 昌弘	鈴木 健一
議案 1	令和3年度半田市一般会計補正予算第10号 (総務：マイナンバーカード取得者にマイナポイントを付与するための事業費として 文教：住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり10万円を給付するものなど)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

反対討論

議案1号に反対

鈴木健一議員

議案1号について、マイナンバーカードの普及を進める目的で、公金受取口座など各種登録を行った方へマイナポイントが付与される、携帯電話会社のような進め方は行うべきではありません。財界の要求であったマイナンバー制度の目的は、社会福祉の抑制であり、個人情報保護のルールが不十分な今、慎重に取扱われるべきであり反対です。

はんだ市議会だよりは議会ホームページなどでも見られます

『はんだ市議会だより』は、市民の皆さんに議会の活動状況をお伝えするため、年5回発行しています。

ホームページからは、カラー版の議会だよりをご覧になることができます。

また、スマートフォンやタブレット用の無料アプリ『マチイロ』でもご覧いただくことができます。

『マチイロ』アプリで居住地を「半田市」と登録した方には、はんだ市議会だよりが更新されるとプッシュ通知でお知らせします。ぜひご利用ください。



▲市議会広報へ



▲マチイロHPへ



政務活動費を使用した議員活動について

政務活動費は、議員の市政発展に寄与するための調査研究等に必要な経費の一部として、地方自治法及び半田市政務活動費の交付に関する条例に基づき支給される交付金のことです。

今号では、令和3年12月までに行った政務活動費を使用した議員活動において、具体的にどのようなことを学んだのか、また半田市に活かせることは何かなどを報告します。

報告内容

1. **研修** 行政における民間人材の活用（講師招聘）※リモートで開催しました。
2. **研修** 医療的ケア児について（講師招聘）
3. **先進地視察** 【1】市町合併について（高松市）
【2】水道事業の広域化について（香川県）
【3】文化・芸術による地域づくりについて（香川県）
【4】子育て支援施設の内容や他施設との複合化について（高松市）
4. **先進地視察** 魅力あるまちづくり（都市再生と定住促進について）（草加市、桐生市）
5. **研修** ゼロカーボンシティについて（講師招聘）

1. テーマ 行政における民間人材の活用

〈受講日程 令和3年10月4日〉

参加者

伊藤正興／山田清一／國弘秀之
小出義一／芳金秀展／渡邊昭司
石川英之



▲リモート研修の様子

講師

獨協大学法学部総合政策学科
大谷基道 教授

学んだこと

- ・自治体は総合行政の担い手としてあらゆる地域課題に対応しているが、課題が複雑化し、より専門性が求められている現状において、複雑・高度化した分野を担う専門人材の確保・育成が難しいという現状がある。
- ・民間人材の募集採用時は、「具体的に何を任せるのか」「職位の位置付け」「有為な人材が応募する給与、任期か」「採否の判断」などに留意する。
- ・副業・兼業の採用は、条件以上のメリットが出る可能性があることがわかった。

半田市に活かせること

- ・テレワークの普及により、副業・兼業が容易な環境となり民間専門人材を活用しやすい環境になってきており、自治体DXの推進など、ICT・デジタルの知識や技術が不可欠であり、民間専門人材の力を活用することが必要である。
- ・半田市において、どの分野で民間専門人材が必要なのかを検討する必要がある。
- ・民間専門人材を採用する場合には、求める人材像、担うべき役割や業務量などを明確にしたうえで、任用形態を考える必要がある。

2. テーマ 医療的ケア児について

〈受講日程 令和3年11月11日〉

参加者

新美保博／嶋崎昌弘／水野尚美
伊藤正興／國弘秀之／坂井美穂
加藤美幸／中川健一



▲出生時の医療的ケア児、健常児の違いを人形で体感

講師

社会福祉法人むそう理事長
戸枝陽基氏
半田市医療的ケア児等コーディネーター
間瀬小夜子氏

学んだこと

- ・ 0歳から脳の発達保証が必要であるため療育環境の充実と、保護者の精神的、身体的負担の軽減など継続的な支援が必要。
- ・ 生まれ育つ地域で、同世代の子どもと共に育ち合える環境整備が必要。
- ・ 出生時の医療的ケア児(約500g)と健常児(3,000g)の違い(大きさや重さ)を人形で体感し、命の大切さを実感した。
- ・ 医療的ケア児及びその家族に対する支援法の目的に、「家族の離職防止」も明言されているため、その支援も必要。

半田市に活かせること

- ・ 予定されている半田中学校区において、拠点となる園・小学校・中学校の連携により、継続的な学びと育ちの保証を実現する。
- ・ 家族の離職防止に対する伴走的支援。
- ・ 医療的ケア児と共に過ごす、園児・児童・生徒及びその保護者に対する啓発、併せて保育者・教育者の現場研修の実施。
- ・ 早急な看護師の確保及び看護師派遣事業の充実。

3. テーマ [1]市町合併について(高松市)、[2]水道事業の広域化について(香川県)、[3]文化・芸術による地域づくりについて(香川県)、[4]子育て支援施設の内容や他施設との複合化について(高松市)

〈視察年月日 令和3年11月16日～18日〉

参加者

新美保博／嶋崎昌弘
加藤美幸／中川健一



▲視察の様子

視察先

高松市役所
香川県広域水道企業団
瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局
高松市子ども未来館

学んだこと

- [1] 市町合併 10年間で合計約301.5億円の経費削減ができるとのこと。
- [2] 水道事業の広域化はまず10年間は各自治体ごとの水道事業ごとに経営し、サービスのデコボコを一定基準の範囲に調整するとのこと。
- [3] 瀬戸内国際芸術祭2019は、総来場者数約118万人、地域経済への波及効果は180億円であった。
- [4] 子育て複合施設の中で子どもたちは行ったり来たりして1日過ごす。

半田市に活かせること

- [1] 市町合併について、早急に市町合併に着手すべきである。
- [2] 水道事業の広域化については人口減少に伴う需要水量の減少などにより広域化は必須と考える。早急に2市3町で広域化を目指す。
- [3] 文化・芸術による地域づくりを半田市も着手すべきである。
- [4] 子育て支援施設の内容や他施設との複合化を推進すべきである。クラシティ、赤レンガ、地域文化広場など新たな活用方法を見直してはどうか。

4. テーマ 魅力あるまちづくり（都市再生と定住促進について）

〈視察年月日 令和3年11月17日～18日〉

参加者

芳金秀展／鈴木幸彦／渡邊昭司
竹内功治／沢田 清／澤田 勝
石川英之



▲視察の様子

視察先

埼玉県草加市、群馬県桐生市

学んだこと

草加市では、まちの現状を多種多様なデータから綿密に分析し、『どんなまちであるべきなのか』というビジョンを掲げ、民間と行政の信頼関係のもと、エリアを絞って公民連携の『リノベーションまちづくり』の手法を用い、まちの担い手を育成するプログラムを展開していました。

桐生市では、『桐生暮らし応援事業』という住宅取得やりフォームの助成メニューを充実させ、空き家をオンラインで内覧できる仕組みなど、不動産業界とも連携し成果を上げられていました。

半田市に活かせること

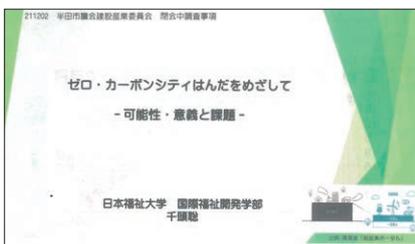
- ・まちの現状を多種多様なデータから分析しビジョンを掲げる。
- ・公民連携を民間と共有し、まちを創っていく当事者を育成する。
- ・必要であればリノベーションまちづくりの手法を検討する。
- ・定住人口増加策の施策を見直し、予算の重点配分をする。
- ・空き家バンクを民間と連携することで充実させ利活用を促す。

5. テーマ ゼロカーボンシティについて

〈受講日程 令和3年12月2日〉

参加者

新美保博／水野尚美／中村和也
芳金秀展／坂井美穂／山本半治
中川健一／竹内功治／沢田 清



講師

日本福祉大学
国際福祉開発学部
千頭聡 特任教授

学んだこと

ゼロカーボンシティを考えるために大切になることが3つ

- ・2050年にゼロカーボンシティはんだとしてどのような姿になっているのかをしっかりと議論し絵に書いてみる。
- ・目指すべき未来の姿から、2030年に達成すべき事をバックキャストで明確化をすること。
- ・2030年に向けて行動計画を作る、この計画は、市民が努力をしてどれだけCO₂を減らしたかが、きちんとわかるようにしておくこと。減らした部分の見える化が大事である。

半田市に活かせること

- ・ゼロカーボンを新たな地域ブランドに
- ・行政による補助金に過度に依拠せず、民間事業者の力を最大限に生かす
- ・半田が有する地域資源を最大限に生かす
- ・新たな産業育成、イノベーションとしてのゼロカーボン化
- ・強力なトップダウンによるぶれない戦略
- ・エネルギーの地産地消に向けたエネルギーマネジメントシステムの導入

議員勉強会を開催しました

開催日 10月20日(水)
場所 市役所5階 議会会議室
講師 日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 原田正樹 教授
テーマ 包括的支援体制と重層的支援体制整備事業について

私たちが日々生活している中で、福祉や介護をはじめ心配ごとは多岐にわたります。半田市でも取り組みが始まった“重層的支援体制整備”について、半田の福祉の仕組みづくりを担っていたら原田正樹教授をお招きし、議員勉強会を開催しました。

団塊世代の方が後期高齢者になる2025年が目前に迫り、支える世代がさらに減少する中、介護の質や量を落とさずに乗り切るためには、今から積極的な予防が重要であること、独居の高齢者を地域が見守り独りにしない、いつでも気軽に相談できる窓口が各地域に必要であることなど、今後誰もが直面する問題をわかりやすく解説いただきました。

議員活動をしていく上で、複雑化する地域生活課題も福祉の垣根を取り払い、広い視野で対応していくことの大切さを再認識することができました。



今後の本会議の開催予定

3月定例会の日程

令和4年2月21日(月)から3月25日(金)



議会本会議の予定へ

あ と が き

新しい年が始まって1か月が経ちました。半田市議会では、「開かれた議会」を目指し、市議会ホームページ、市議会だより、「LINE@」、「Facebook」、オンラインによる議会報告会など、コロナ禍での情報提供に努めています。また、定例会本会議については、YouTubeによる動画配信をご覧頂くことができます。この市議会だよりも、紙面のあり方や内容など読み手に伝わる工夫や市民の皆様にとって役立つ情報をわかりやすく提供出来るよう、充実した紙面づくりを目指してまいります。本年もよろしくお願いたします。

広 報 委 員 会

委員長 小出 義一
 副委員長 鈴木 健一
 委員 嶋崎 昌弘 / 山田 清一
 中川 健一 / 澤田 勝

編 集 ・ 発 行 半 田 市 議 会

〒475-1866
 半田市東洋町2-1
 TEL 0569-184-0694
 TEL 0569-124-185
 FAX 0569-124-185
 E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは機読ソフトウェアの登録商標です。

半田市議会へ